



あまみ



コクトくん

© Amami city

市議会だより

第47号

平成29年12月発行



奄美市住用町合同金婚式（9月27日撮影）



第10回奄美市民体育祭（11月5日撮影）

第3回定例会

平成29年9月1日～10月6日

発行／奄美市議会

編集／奄美市議会だより編集委員会

〒894-8555

鹿児島県奄美市名瀬幸町25番8号

TEL (0997) 52-1111

FAX (0997) 52-2815

Eメール：gikai@city.amami.lg.jp

第3回定例会一般質問・・・2P～6P

定例会の主な議案、請願・陳情・・・7P～8P

常任委員会の審査概要・・・8P～9P

決算に関する特別委員会の審査概要・・・9P～10P

議員研修会・九州北部豪雨災害義援金・・・10P

議会の動き・・・11P

第3回定例会 一般質問

10月6日、7日、8日の三日間で14名の議員が市政全般について市当局に問いただしました。要約を紹介します。

(質問順に掲載)

末広・港土地区画整理事業について



動画視聴



末広・港土地区画整理事業について

「奄美らしさ」は具体的にどう表現されるのか

整理事業について

「末広・港線道路デザイン会議」で魅力的な街並みの形成に向け道路の構成や色彩、街灯のデザインや歩道の植栽など提言をいただいている。

各地で事故が多発している米軍用機オスプレイが危険な飛行機との認識はあるか

オスプレイについては、事故や緊急着陸などの報道はあるものの、純に民間機を含むその他の航空機との事故率と比べ突出した数字とは分析されていない。しかし、奄美市として安全飛行を含め、その運用には関係機関と連携をはかり対応したい。

国が公表した「高レベル放射性廃棄物(核のごみ)最終処分場の選定にむけた特性区分地図

に対する見解は

世界自然遺産登録をめざす本市において、このような処分場建設は本市や奄美を取り巻く環境に相応しくないものと考えている。

検索

奄美市議会 議会登録配信

議会顔写真下の二次元コードを、スマートフォン等のバーコードリーダーで読み取ることによって、一般質問の録画中継がご覧いただけます。

自衛隊駐屯基地への給水工事のあり方について

関誠之

(社会民主党)



動画視聴



高レベル放射性廃棄物の持込拒否条例の制定について

条例制定の判断以前に、市として明確な意思を示すことが重要であり、このような処分場建設は、世界自然遺産登録を目指す本市や奄美には相応しくないものと考えている。

自衛隊駐屯基地への給水工事のあり方について

水源試掘調査を実施した用地買収については、分筆作業中である。平成28年度自衛隊駐屯地への給水工事の予算総額は

9759万円で執行済額は1871万円で、28年度中には入っていない。翌年に繰り越し処理をした。

学校給食センターの運営のあり方について

台風5号により、朝戸国道、県道小湊朝戸線、任用地区国道・市道など配送ルートの部が冠水した。給食センターの配送に影響を与える恐れがあり、検証することが重要と考える。台風等での船舶欠航時における食材の確保については「危機管理マニュアル」を年内に取りまとめる予定。

その他の質問事項
○行政協力員の委嘱のあり方

家計の貯金に当たる基金（財政調整基金・特定目的基金）について

林山 克巳
（自民新風会）



動画視聴



問 財政調整基金の残額と使途について

答 本市の財政調整基金残高は、39億7501万3000円、使途は、突発的な災害や緊急を要する経費（先般の台風5号の災害復旧）に備える他、財源に余裕のある年度には積立を行い、年度間の財源不均衡を調整する機能の役割を果たしている。

問 ターン・Uターンの最重要支援項目について

答 定住促進住宅整備事業（予算額10500万円）と空き家バンク制度（事

台風5号豪雨災害について

奥 輝人
（自由民主党）



動画視聴



務費運営）において移住促進と地域の活性化を図っている。

問 黒糖焼酎業界の物流費や宣伝負担金及びイベント拡販経費の助成金について

答 龍郷町と共同でふるさと名物応援宣言により、業界団体に補助金や人材育成・情報発信等において国の優遇措置がうけられており、輸送費は、支援の対象にはなっていない。

問 住用総合支所周辺の国道、漁協、農協、公民館等の水没対策について

答 県が住用川の河川改修工事を行なっており、流下能力が現在の約1.6倍に向上し、被害が軽減される。市においては、道路冠水など内水対策の為に今年度から排水機場の整備に着手する。国道の道路排水は、住用川に向け流れる様になっており、河川改修後は、河川に排水する計画である。

問 山間・戸玉間の法面崩壊の原因と対策について



住用総合支所周辺冠水対策

答 豪雨により、現場吹付法枠工が施行されていない法面上部が侵食を受け、枠工の背後に雨水が侵入し崩壊が起った。今後の対策は法面を安定させる法枠工十ロックポルト工法を想定している。

問 節田集落内市道の冠水対策について

答 節田川の流域は範囲が広く4河川の支流と畑地帯からの水路などがあり、流域の分散など対策について検討している。

市管理・県管理の河川現状と対策は

師玉 敏代
（自民新風会）



動画視聴



問 市管理・県管理の河川現状と対策は

答 県管理河川は、17河川。市管理河川は、235河川あり、河川の氾濫を未然に防止するため、定期的に点検し寄洲の堆積状況を確認し、治水上、緊急性の高い箇所から対応をしていきたい。

問 山間港と東城内海の浚渫について

答 山間港の浚渫は、流下能力の向上を図るため、住用川の堆積土砂の除去や拡幅河川改修を行っている。東城内海は、県が川内川の河道の拡幅や掘削に取り組んでいる。今

後の河川改修の進捗状況から、どのような対応ができるか、県及び関係機関と協議していきたい。

問 林道「住用中央東線」・林道「嘉徳・青久線」の整備について

答 法面や路肩の整備は、林道改良として「奄美大島地域森林計画」に位置づけ可能となる。県へ申請書を提出した。

問 人工内耳体外機の助成について

答 高額な機器購入に、先行自治体を参考にしながら、利用者や家族に配慮し、検討したい。



山間港土砂の堆積状況

8月に襲来した台風5号について

橋口 耕太郎
(公明党)



動画視聴



た末就学児の教育・保育関係者と広く連携できるような会合を開催していきたい。

問 小中学校への空調設備の設置と可能性について

問 道路が20cm以上冠水した地区と対策は

答 市内3地区で合計25箇所。対策としてソフト面で、避難訓練などで防災意識の向上を図り、情報伝達の迅速性・確実性を向上させる。ハード面では、河川改修工事と内水対策事業を進めていく。

問 旧工業高校跡地に建設予定のネコ収容施設の運用基準は

答 国・県・奄美大島5市町村に民間団体も交え、発生源対策も含めた総合的な対策を検討中。

問 保育所全体の会合、組織はあるか

答 今後、幼稚園を含め



災害に備えて非常袋

答 試算では、普通教室への設置で、導入費総額で約6億500万円。ランニングコストが約340万円。今後、特別な事例が出た場合は状況に応じ検討する。

問 沖繩の「かりゆしウェア」のような奄美独自のブランドは

答 観光関連団体などの意見を伺いながら検討したい。

台風5号の被災状況から得た

教訓・対策は

平川 久嘉
(自由民主党)



動画視聴



問 台風5号の被災状況から得た教訓・対策は

答 指定避難所の開設運営にあたっては、効率的な職員配置などを総合的に判断し必要かつ弾力的な開設をする。指定避難所の床上浸水や避難経路の冠水、階段などの高齢者への支障など検証し指定の検討をすすめる。

問 奄美市国民保護計画の周知、訓練の実施計画は

答 各種の武力攻撃事態を想定した市民保護の計画、周知方法は奄美市ホームページの閲覧、町内会・

自治会情報連絡会や嘱託員会・駐在員会などで周知を図る。避難訓練等は実施時期や手法も含め検討していく。

問 赤木名前田川堤防未舗装道路のアスファルト舗装は

答 左岸の路線は生活道路として平成30年度完成を目指し整備中。右岸側は生活道路としての今後の河川敷背後の利用状況の変化等も考慮しながら関係機関と協議していく。

問 奄美の広報の好機として積極的に取り組む事業は

答 世界自然遺産登録がある。市ホームページやフェイスブックなど活用し積極的に取り組む。

台風5号を教訓とする

防災対策について

安田 壮平
(自民新風会)



動画視聴



問 古見方地区朝戸・名瀬勝両集落の防災対策は

答 平成24年度より県が大川の総合流域防災事業に着手し、優先度の高い朝戸の築堤・護岸工を継続中。名瀬勝では市が農業用排水路の土砂除去を進めている。同排水路の大川合流地点の改善と集落前の寄り洲除去の早期実施を県に要望していく。

問 青少年支援業務の今後

答 福祉政策課はじめ庁内各部署と児童相談所や警察・NPO法人等関係機関との連絡を強化して、

後退しないよう取り組む。

問 来年の明治維新百五十周年及び大河ドラマ『西郷どん』放映に向けた取り組みは

答 芦花部の「南洲神社」や赤木名の「西郷さん」が腰掛けた床柱」等を活用するため、龍郷町等と連携して説明板設置やパンフレット作成をする。また白糖工場があったらんかん山周辺を含む観光案内板設置やまち歩きルート構築をする。



大川の名瀬勝集落近くの寄り洲

奄美空港におけるバニラエア報道

に於いての本市の対応について

西 にし 公郎 きみお (自民新風会)



動画視聴



問 奄美空港におけるバニラエア報道に関しての本市の対応について

答 利用者に不快な思いをさせた事についての反省と謝罪があり、本市においても今後、社会的弱者も含め利用者に対する一層の配慮を求めた。

問 本市の難病対策の方向性について

答 本市から積極的に情報提供を行うことも、保健所からの情報も関係機関へつなぎながら、患者の方が安心して生活できる地域づくりに取り組んで参りたい。

問 ウニ漁での次期奄振事業で全都的な取組みについて

答 先進地である沖縄県の取組み内容について十分調査を行い、奄美群島全体で効果的に実施できる新たな取組みについても検討したい。

問 笠利町におけるサッカー、ラグビー場建設について

答 建設について多くの検討事項もあるので、関係機関と連携を図り、今後調査も含めて進めて参りたい。

その他の質問事項

○奄美市開発公社契約社員に於いての処遇改善について

○ドクターヘリ運用での財政負担の見解について

観光対策について

橋口 はしぐち 和仁 かずひと (自民新風会)



動画視聴



問 本市が考える観光地としての概念と、観光立島を目指す上で何が重要であるか

答 観光地とは、自然・歴史・文化等を体験する事が出来る観光の資源を有し、旅行者を受け入れる事が出来る地域。重要な事は、地域や他産業と連携する着地型観光を推進するなど、地域に根差した観光振興である。

問 土盛海岸の観光地としての整備をどのように考えているか

答 全体的な整備については、土盛海岸の周辺が保安林区域に指定され、

私有地の関係もある事から現在関係機関と打ち合わせを行っている。トイレ・シャワー施設の整備については、引き続き検討していきたい。

問 マンゴー・パッション・タンカンの販路の課題と、組織体制は

答 タンカンは、農協が主体で農家・自治体が連携して本土への販路拡大を図っている。マンゴー・パッションは、組織体制が未整備で、組織体制の協議を進めて行き、共販による販路拡大に向け検討していきたい。

問 保冷库の設置について

答 保冷库の設置は、農家の所得向上を図る上で必要。関係機関と連携し広域的な取り組みとして協議していきたい。

市長の政治姿勢について

与 あたえ 勝広 かつひろ (公明党)



動画視聴



問 第2次財政計画実施から一年経過し、一本算定までの交付税の推移と財政基盤の確立について

答 激変緩和期間を経て、平成33年度には、105億6000万と見込んでいます。各種事業計画の裏付けとなる財政基盤の確立については、計画的な財政運営を進めるに伴い、補助事業の導入や有利な起債の活用、さらには、計画的な基金積立等により、適正な財政運営をすすめて参りたい。

問 市長の2期目の達成率は

答 2期目の公約の達成率は、1期目から継続項目が89%、2期目からの新たな項目が81%、公約全体として86%と評価している。特に「観光・交流活性化事業」「インキュベート施設等を活用した情報産業支援」「航路・航空運賃軽減の実行」「財政の健全化、職員の適正化」「学校施設耐震化100%達成」「子育て支援センター整備計画の推進」など大きく前進し成果を上げていると考えている。

自衛隊基地建設について

三島 照 (日本共産党)



動画視聴



問 自衛隊基地の宿舍建設地域住民への説明会について

答 説明会の開催は、防衛省と協議を行い、必要に応じて検討する。

問 奄美市の農政発展を考えたとき農協との連携が大事と考えるがどうか

答 生産された農産物を県外へ売出すのが重要であり、全国組織の農協と農家、行政が連携し、マーケティングを行い、販売促進を図ることが重要と考えている。

問 子どもの医療費助成制度を中学卒業まで拡大すべきと思うが

答 引き続き検討したい。

問 市集落採石場について、第2回定例会以降どのような対応したか

答 6月議会以降において意見書という形で住民の声を踏まえて本市の考えを県に伝えている。

その他の質問事項

○介護福祉士・社会福祉士資格試験場を奄美で実施することについて

○急傾斜、危険個所の現状と対策

「ヘルプマーク・ヘルプカード」「耳マーク」の本市への導入について

栄 ヤスエ (公明党)



動画視聴



問 城間・宇宿集落の浸水被害について

答 河川掘削を計画しており、今後発注の準備ができ次第実施する。

問 ヘルプマーク・ヘルプカードの本市への導入について

答 地域全体で障害があるかたへ「もつとできること」を考える契機として取組んでいく。

問 「耳マーク」の導入について

答 来所される方への合理的配慮に結びつくよう、本市での導入を検討したい。

問 性犯罪・性暴力被害

者支援体制について

答 平成28年度の相談件数は265件、内生活困窮関係218件、DV関係25件。相談体制については整っている。

問 性犯罪被害者相談電話共通番号「#8103」の市民への周知広報について

答 パンフ配布やHP等で周知をはかる。

その他の質問事項

○県指定文化財「トフル墓群」周辺整備について

○農産物加工施設の整備について



ヘルプマーク



耳マーク

本場奄美大島紬

再生計画について

川口 幸義 (自由民主党)



動画視聴



問 本場奄美大島紬再生計画について

答 特に優先度の高い後継者育成については、今年の4月に県から譲渡された旧工業技術センターを拠点として、織だけでなく幅広い行程の職人が集まり、後継者への技術指導者の育成などに取り組む計画である。また各機屋における人材育成への支援についても検討している。紬購入助成事業についても、産地から大島紬愛用の気運を盛り上げるために取り組んでいる。

問 三儀山屋内プール整備について

答 本市において名瀬運動公園の50mプールは、機器の不具合により使用されない状況が続いていた。強化合宿等を受入れるための50mプールの整備を奄美水泳連盟等からの要望を受け、平成27年度「ろ過装置等設備工事」を実施し、平成28年度にコースのラインを引き直す等の工事を行い、今年度にプール内全面塗装工事を予定しており、年次的に改修を進めている。

第 3 回 定 例 会 の 主 な 議 案

議案等番号	件 名	議決結果	付託委員会
報告第 5 号	専決処分の承認を求めることについて (専決第 10 号 平成 29 年度奄美市一般会計補正予算 (第 3 号) について)	承認	本会議
報告第 6 号	専決処分の承認を求めることについて (専決第 11 号 平成 29 年度奄美市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 1 号) について)	承認	本会議
議案第 54 号	平成 29 年度奄美市一般会計補正予算 (第 4 号) について	原案可決	全委員会
議案第 55 号	平成 29 年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 3 号) について	原案可決	文教厚生
議案第 56 号	平成 29 年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算 (第 2 号) について	原案可決	文教厚生
議案第 57 号	平成 29 年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算 (第 2 号) について	原案可決	文教厚生
議案第 58 号	平成 29 年度奄美市公共下水道事業特別会計補正予算 (第 1 号) について	原案可決	産業建設
議案第 59 号	平成 29 年度奄美市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 2 号) について	原案可決	産業建設
議案第 60 号	平成 29 年度奄美市水道事業会計補正予算 (第 1 号) について	原案可決	産業建設
議案第 61 号	奄美市観光公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第 62 号	奄美市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第 63 号	奄美市簡易水道事業設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第 76 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	本会議
議案第 77 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	本会議
議案第 78 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	本会議
議案第 64 号	平成 28 年度奄美市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	一般会計決算等 審査特別委
議案第 65 号	平成 28 年度奄美市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等 審査特別委
議案第 66 号	平成 28 年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等 審査特別委
議案第 67 号	平成 28 年度奄美市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等 審査特別委
議案第 68 号	平成 28 年度奄美市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等 審査特別委
議案第 69 号	平成 28 年度奄美市訪問看護特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等 審査特別委
議案第 70 号	平成 28 年度奄美市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等 審査特別委
議案第 71 号	平成 28 年度奄美市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等 審査特別委
議案第 72 号	平成 28 年度奄美市ふるさと創生人材育成資金特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等 審査特別委
議案第 73 号	平成 28 年度奄美市と畜場特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等 審査特別委
議案第 74 号	平成 28 年度奄美市交通災害共済特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計決算等 審査特別委

議案第 75 号	平成 28 年度奄美市水道事業会計の利益処分及び決算認定について	原案可決 及び認定	特別会計決算等 審査特別委
議案第 79 号	平成 29 年度奄美市一般会計補正予算（第 5 号）について	原案可決	本会議
発議第 7 号	北朝鮮のミサイル発射に断固抗議する決議	原案可決	本会議
発議第 8 号	高レベル放射性廃棄物等の持ち込みを拒否する決議	原案可決	本会議
発議第 9 号	奄美市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	本会議

請願・陳情の状況

受理番号	件名	提出者	議決結果
陳情第 2 号	「高レベル放射性廃棄物等の持ち込みを拒否する決議」の採択を求める陳情	奄美の自然と平和を守る郡民会議 議長 喜入 拓司	採択
陳情第 3 号	奄美市への自衛隊配備に関連する市議会報告会の開催を求める陳情	戦争のための自衛隊基地建設反対奄美ネット 代表 城村 典文	不採択

第 3 回 定例 会 常任委員会の審査概要

第 3 回定例会における常任委員会では、9 月 13 日に文教厚生・14 日に産業建設、15 日に総務企画のそれぞれの委員会で議案・陳情について審査しました。

総務企画委員会

総務企画委員会では、議案 1 件、陳情 1 件を審査し、議案 1 件を原案のとおり可決すべきものと決し、陳情第 3 号を不採択としました。

一般会計補正予算の主なものとして、現行の Jアラート（全国瞬時警報システム）が平成 31 年から新システムへ移行することに際し、受信機を更新するため 400 万円を計上したことの説明がありました。これは国からの情報を市町村側で受信し、防災行政無線によって発表するまでの時間を大幅に短縮

できるための更新で、ミサイル発射や地震速報、大津波警報などいち早く緊急情報を市民に知らせるための更新との答弁でした。

ふるさと納税について、現行の JTB「ふるほ」システムとは別に新規に「楽天ふるさと納税サイト」へ参入するためとして、約 2400 万円を報償費・委託料として計上したとの説明があり、委員からどれくらいの効果・反響があるかとの質疑に対し、当局より楽天のシステムを導入している自治体は全国で約 2500 の自治体があり、県内 19 市のうち 10 市が導入済みとのこと。中でも特に高額な寄附納税額がある市は楽天サイトを使用しており、「ふるほ」と並行して窓口を増やすことにより、5 千万円の寄附増額を見込んでいるとのこと。併せてふるさと応援基金として 2500 万円の積立金も計上したとの答弁でした。

文教厚生委員会

地方創生推進費に関し委員からの質疑で、新規に建設する「子育て・保健・福祉総合施設」に関連して水害・津波等の災害時に避難弱者に配慮した一時避難所としての機能を持たせてほしいとの要望がありました。

一般会計補正予算の主なものとして、小規模福祉施設スプリングラー整備事業補助金として 157 万 4 千円、子ども・子育て会議委員報酬として 12 万 9 千円、放課後児童クラブ運営補助金として 1684 万 1 千円、奄美大島食肉センター建設推進協議会負担金として 181 万 5 千円、二酸化炭素排出抑制対策業務委託料として 854 万 9 千円、笠利公民館工事請負費として 1 千万円、各種大会及びコンクール出場補助金として 60 万円、奄美博物館工事請負費として 200 万円、太陽が丘運動

公園工事請負費として1100万円を計上した等の説明がありました。

放課後児童クラブ運営補助金について質疑があり、運営費の補助基準額の単価の増が1299万7千円、児童支援員の処遇改善が384万4千円との説明でした。奄美大島食肉センター建設推進協議会について質疑があり、平成29年1月に本島内5市町村で設立し委員は、各市町村長との説明でした。笠利公民館工事請負費について質疑があり、2箇所のトイレを和式から洋式に変えてバリアフリー化するとの説明でした。各種大会及びコンクール出場補助金について質疑があり、朝日中学校吹奏楽部と金又中学校吹奏楽部が南九州大会出場のため一人当たり2万円を補助するとの説明でした。

介護保険事業特別会計補正予算の主なものとして介護保険事業費準備基金積立金として2894万9千円、国・県・支払基金給付費等返納金として7253万1千円計上したとの説明がありました。

1億円余りの剰余金の要因について質疑があり、要介護認

定率が下がっていること、介護予防に力を入れたこと、施設入所者の入院等により介護保険を利用しなかったことなどが考えられるとの説明でした。

産業建設委員会

産業建設委員会では、議案7件及び陳情1件を審査し、議案7件はすべて原案のとおり可決すべきものと決し、陳情1件は採択すべきものと決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、当局から、廃止路線代替バス車両購入費補助金について、路線運行に必要な3台の車両購入に対する補助金との説明がありました。委員から日本エアコミュニーター株主優待券の利用について質疑があり、離島割引の拡充により利用価値は減っているが、有効活用できる方策を検討したいとの答弁がありました。

奄美市公共下水道事業特別会計補正予算の主なものとして、当局から、終末処理場に係る債務負担行為補正との説明がありました。

奄美市農業集落排水事業特

別会計補正予算の主なものとして、当局から、処理場の警報装置や汚水ポンプの修繕料を計上したとの説明がありました。

奄美市水道事業会計補正予算について、委員より、委託料についての質疑があり、県が工事する臨港道路に併せて管路を設置するため、今回の補正予算に計上したとの答弁がありました。

奄美市観光公園条例の一部を改正する条例の制定について、当局より、使用料の見直し、管理を指定管理者に行わせることを可能にするための改正との説明がありました。

奄美市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について、当局より、根瀬部住宅一棟二戸の解体撤去によるものとの説明がありました。

奄美市簡易水道事業設置条例の一部を改正する条例の制定について、当局より、自衛隊奄美駐屯地への給水を踏まえ、給水区域の拡張、計画給水人口、計画給水量の変更に伴うものとの説明がありました。

平成二十八年度決算に関する特別委員会の審査概要

【一般会計等決算審査】

一般会計決算等審査特別委員会は、3日間開会し、認定すべきものと決しました。

委員から自主財源比率が伸びた要因についての質疑に対し、市税が約5千万円増加し徐々に経済の回復基調が出てきている事とふるさと納税等の寄附金増加も要因ではないかとの答弁があった。名瀬港の立神購入について理由や利用計画の質疑があり、市が管理することが公益に資すると判断し譲渡となった。今後は文化的・歴史的側面から有効な利用と管理を考えていくと答弁。

ふるさと納税の最高寄附額は県外の方が315万円で、28年度は総額で9千万円を超えたとの答弁。

民生費では、小規模保育事業所が出来た事で0〜2歳児の受け皿の拡充が出来て前進したと報告があった。被生活保護世帯・人員は微減の状況が

続いている。

衛生費について、子ども医療費助成金9392万円は、安心して子供を産み育てるために小学校6年生までの全ての子供に係る医療費を保険適用分に限り全額助成を行った費用であると答弁。委員からは中学生まで引き上げて欲しい旨要望があった。

商工費では、廃止路線代替バス等運行補助金約3千万円についての質疑で、地域住民や観光客の移動手段を確保していくため地域交通網形成計画の策定に取り組んでいると答弁。また28年度からスタートした本場奄美大島紬購入等助成金については、132件の実績で好評とのことであり1352万円を助成したと答弁。

土木費で橋梁長寿命化計画策定事業について質疑があり、市全体で334橋あるうち、28年度までに89橋、27%が完了。29年度には53%、30年度まで

に全て完了予定と答弁。

教育費では、学力向上に向けた取り組みについて質疑があり、小学校は全国・県平均を上回っているが、中学校は県平均を下回っているものの差が縮まって学力が伸びてきており、指導主事の派遣や徹底して改善に取り組んでいると答弁があった。また教育行政指定寄付金3千万円の使途についての質疑に対し、名瀬地区14校に書籍や、ICT整備事業、書棚備品等に充当したと答弁。

委員よりの安定的な財政運営の在り方について質疑があり、財政指標は好転しているが、県内19市と比較すると下位にあり真の意味で体力は未だ付いていない。実施計画と財政計画に基づき計画的に執行することを継続し、安定的な財政運営を図るとの答弁がありました。

【特別会計等決算審査】

特別会計決算等審査特別委員会では、11件の特別会計決算議案について審査し、いずれも原案のとおり

可決すべきものと決しました。

公共下水道事業特別会計では、委員から公営企業への移管についての質疑があり、平成32年までに移管するように国から指導されている。公営企業となることで、事業の効率化、客観的な評価ができる等メリットがあるとの説明がありました。

水道事業会計の利益処分及び決算認定については、委員から不能欠損の件数が増えたとの質疑があり、原因としては民事再生法を受け、法的に債権回収が不能となるケースがあった。先方への影響、地域経済への影響を考え停水を躊躇してしまっただことが反省として挙げられる。今後は原則どおり停水を行い、歳入を確保する所存との説明がありました。

交通災害共済特別会計では、委員から加入者の減少についての質疑があり、人口の自然減、担当課の港町仮庁舎へ移動したことへの影響、高齢者の施設入所などが原因として考えられ

るとの説明がありました。

国民健康保険事業特別会計では、委員から国保が都道府県単位になった場合には保険料が下がるかとの質疑があり、新制度移行時の推移がはっきりしない段階である。累積赤字解消が最大の目標と考えていることから、現時点では今の水準が妥当と考えているとの説明がありました。

介護保険事業特別会計では、委員から高齢者虐待に関する相談についての質疑があり、名瀬地区22件、住用地区0件、笠利地区11件。虐待の種類については暴力、介護放棄、経済的虐待があり、介護サービスやキーパーソン、ショートステイを活用するなど、ケースごとに対応を考えているとの説明がありました。

と畜場特別会計では、委員から新しいと畜場の建設についての質疑があり、奄美市内で建設する予定で、平成32年度までに建物の完成、平成33年度からの稼働を目標としているとの説明がありました。

九州北部豪雨災害義援金

7月上旬に福岡県と大分県を中心とする九州北部で発生した集中豪雨により、甚大な被害をもたらしました。奄美市議会は、24名全議員の善意で集まった12万円の義援金を被災者のために役立ててもらえるようにと、9月12日に竹山議長と師玉副議長から、朝山市長に手渡しました。 ※義援金は日本赤十字社を通じて、被災地に送られます。



議員研修会

奄美市議会では、毎年議員研修会を行い議員の資質の向上に努めています。平成29年度第1回議員研修会は、9月2日(土)市役所4階大会議室で講演会を開催しました。講演会の講師には、「情報工房」代表の山浦晴男氏(千葉大学大学院看護学研究科特命教授、山梨県在住)を招き、「住民と行政の協働による地域再生」をテーマに講話をいただき、議員や市役所職員が参加しました。



議 会 の 動 き

- 平成29年 8日 1日 奄美群島さとうきび価格対策協議会総会
 3日 大和村宮古崎トンネル安全祈願祭
 8日 燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会第1回総会
 (鹿児島市)
 11日 公明党奄美ティダ委員会「遠山清彦政経セミナー in 奄美」
 15日 住用戦没者慰霊祭
 名瀬戦没者合同慰霊祭
 第2回奄振延長・提言特別委員会
 22日 奄美市中学生ひかり議会
 28日 議会運営委員会
 29日 平成29年度奄美・やんばる広域圏交流推進協議会(和泊町)
 30日 第3回奄振延長・提言特別委員会
 9日 1日 奄美市議会第3回定例会開会、全員協議会
 2日 奄美市議会議員研修会
 6日 一般質問 — 崎田議員、関議員、林山議員、奥議員、師玉議員
 7日 一般質問 — 橋口(耕)議員、平川議員、安田議員、西議員、
 橋口(和)議員
 8日 一般質問 — 与議員、三島議員、栄議員、川口議員
 12日 本会議、全員協議会
 第1回議員定数等調査特別委員会
 13日 常任委員会(文教厚生)
 14日 常任委員会(産業建設)
 芦穂の里敬老祝賀会・奄美和光園敬老祝賀会
 15日 常任委員会(総務企画)
 18日 奄美市「敬老の日祝賀会」
 21日 本会議、全員協議会
 22日 一般会計決算等審査特別委員会、特別会計決算等審査特別委員会
 25日 一般会計決算等審査特別委員会、特別会計決算等審査特別委員会
 26日 一般会計決算等審査特別委員会
 27日 住用町合同金婚式
 第2回議員定数等調査特別委員会
 10月 2日 議会運営委員会
 6日 最終本会議、全員協議会
 8日 第58回住用地区体育祭
 11日 第3回議員定数等調査特別委員会
 15日 第31回住用三太郎まつり
 16日 第4回奄振延長・提言特別委員会
 第112回笠利町招魂祭
 21日 あまみ商工会館落成・設立10周年・記念式典並びに祝賀会
 25日 第3回大島ブロックシルバースポーツ大会
 第4回議員定数等調査特別委員会
 27日 第5回奄振延長・提言特別委員会

あなたのまちの議会を間近で見てください！！

平成29年第4回定例会は12月8日開会予定です

一般質問は、12月11日(月)から14日(木)までの予定です。(質問者は未定)



奄美市「敬老の日祝賀会」(奄美文化センターにて) 9月18日撮影



第58回住用地区体育祭(住用総合グラウンドにて) 10月8日撮影



第112回笠利町招魂祭(太陽が丘総合運動公園 招魂碑前広場にて) 10月16日撮影

市議会だより編集委員会

委員長 師玉 敏代
副委員長 松山さおり
委員 関 誠之
安田 壮平
崎田 信正
伊東 隆吉
橋口 耕太郎
林山 克巳

編集あとがき

廟堂(びよつどう)に立ち入り政を為すは天の道を行うものなれば些(いささ)かも私を挟みては相済まぬもの也

鹿兒島が生み、この奄美大島(道の島)で敬天愛人の精神を作りあげた明治維新の功労者西郷隆盛の遺訓であります。政治を行い、民を導くということは天の道を歩むことと同じであるから、少しでも私利私欲を考へてはいけないという教えである。私自身の座右の銘でもあり、西郷隆盛の生き様を反映している遺訓であります。

地位や名譽にこだわらず、市民の為に東奔西走する凄まじい気迫と強い信念が必要であり、筋が通っていないければ、強い者権力をもった者に対してもひるむことなく直言をし、立場的に弱い人には親身になって、寄り添うことこそが、議員の本来あるべき姿だと心に言い聞かせながら日々取り組んでいます。折しも来年は、明治維新150周年・大河ドラマ西郷どん(せごどん)が放映されます。歴史を通じて、先人の歩みの中から本来あるべき姿や至誠を学び、議員活動に生かしていきたいと思えます。

「道の島 心を繋ぐ、波の音」
(林山 克巳)